



『ちいさなねこ』
石井桃子 さく
横内襄 絵
福音館書店

ちいさなねこが、おかあさんねこの元を離れ、初めて一人で出かけます。外の世界は、車や、人間の子供や、その他様々な危険に満ちていますが、最後はおかあさんに連れられて家へ帰ります。

幼い子供にとっては、ちょっと家の外へ出かけるのも大冒険。そんな子供たちの心は、絵本にぴったり寄り添って、ちいさなねこと一緒に街を駆け抜けます。

➔ 幼い子が小さな冒険にできるおはなし

『こすずめのぼうけん』

(ルース・エインワース 作 石井桃子 訳)

堀内誠一 画 福音館書店)